

< 目 次 >

- 1 【 実践事例 】 学校と地域の協働による教育活動実践事例（青森県 2）
 - 2 【 読書推進 】 家族そろって食事をしよう
 - 3 【 教振は今 】 教ちゃん、振ちゃん見聞録
 - 4 【 みんなの声 】 ペっこ言い隊
 - 5 【 編集後記 】 あつしのひとりごと
-

1 【 実践事例 】 学校と地域の協働による教育活動実践事例（青森県 2）

青森県の実践事例第 2 弾の今回は、十和田市立三本木小学校を紹介します。三本木小学校では、地域の図書館ボランティアの方々が、読み聞かせや図書室装飾のみならず、図書委員会の子どもたちと一緒にになった図書貸し出しや保護者に向けての情報発信を 10 年以上続けています。

事例は⇒http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/jirei_sanbongi.pdf

（青森県教委；平成 20 年度学校と地域の協働による教育活動実践事例集より）

2 【 読書活動 】 5 者の役割を考える

病院の待合室でのことだ。退屈した幼児が病院備え付けの本を「読んで」という表情で、母親の元へ持ってきた。母親は一瞬、携帯電話の画面から目を離したが、応じることはなく、せっかく子どもが興味を示したのに残念に思った。

本を読まない、作文が苦手な子どもが多いというが、小学校に入学して、すぐに読書といっても、習慣がないと無理だ。行間から空想し、次のページへのワクワクする期待感を会得するまでは、年齢に応じた読み聞かせの機会が、どれほど大切なことだろう。

このためにも、時には携帯電話の画面を閉じ、心から子どもに向き合ってほしい。我が子の幼くても豊かな感性に付き合い、その成長を見守ることは大切なことだ。（60 歳 宇都宮市 主婦 「2010.5.24 読売新聞」より）

新聞の投書に目が留まりました。この子どもは、本を好きになるのだろうか。それ以上に、この親のもとでどのような小・中学生に育っていくのだろうか。それは、この子に責任・原因があるのだろうか……。考えさせられます。

教育振興運動は、子ども・親・学校・地域・行政の「5 者の役割と責任」を明確にして課題を解決していきます。このケース（家庭の教育力の低下）を地域

の課題と考えたとき、解決するための「5者の役割と責任」は何でしょうか。誰もが、子どもに対して直接関わることを役割と考えがちですが、「5者の」ということは、それぞれの立場に応じて役割が異なるはずです。

全県共通課題の「家庭学習の充実」では、地域がどのように関わったらよいかかわからないという声が聞かれます。家庭学習をするのは子ども、家庭の生活リズムを整えるのは親、効果的な学習効果を考えて宿題を出すのは学校。では、地域は何をしたらよいかというのです。

地域に求められているのは、親の先輩として、また地域の仲間として、地域の親を育てることではないでしょうか。最初から完成した親はおりません。子どもの成長とともに、親自身も学び、悩み、育っていきます。親を支えるということが、間接的ではありますが子どもの課題解決になるものと思います。

3【教振は今】教ちゃん、振ちゃん見聞録

(振ちゃん)「教育振興運動市町村担当者研修会」、すごく良かったね。雫石町の再生プランと広報の役割、二戸市の「家庭教育の手引き」、花巻市八重畑地区の読書推進の取組、どの実践事例も具体的で参考になるものばかりだったよ。

(教ちゃん)松尾先生の講話も、わかりやすくてよかったわ。「読書」で読み取る力が学力向上につながる話や、私たちがすべきことを提示してくださいました。詳細は次回にお知らせしますね。

(振ちゃん)「わか芽の詩」も、市町村の皆さんに1枚ずつ配布したんだよ。

(教ちゃん)ワカメ？

(振ちゃん)若い芽のことだよ。教育振興運動の歩みを収めたDVDなんだ。

(教ちゃん)市町村の研修会や集約大会で上映してくれると、うれしいわ。

(振ちゃん)なんたって、僕たちのイラストで飾られて、かわいいんだよ。

(教ちゃん)かわいいといえば、全県共通課題のロゴマークもどんどん使ってくださいね。

「家庭学習」⇒http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/22homework_s.gif

「読書活動」⇒http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/22bookread_s.gif

(振ちゃん)最後にお知らせです。5月30日から『テレビ・ゲーム・パソコンを消して読書する共同行動2010』が始まります。ノーテレビ・デーの取り組み、また学校の児童会・生徒会や委員会の取り組みとしてもいいと思います。

★ 詳しくはこちら ⇒ <http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/ESD.pdf>

4【みんなの声】ぺっこ言い隊

先週の日曜日は母の日でした。子どもたちが「買い物に連れてって」と言うので何を買いたいのか聞いたところ、やはり「お母さんに内緒でプレゼントを買いに行きたい」とのこと。

とある大型小売店に連れて行き、すぐ買い物するかと思いきや、何を買うか、予算をいくらにするかでモメ始めました。男の子と女の子、年齢の上の子と下の子では当然に考え方が違うので、一向にまとまりません。

そこで長男が「自分が買いたいものではなく、お母さんが欲しいと思うものにしよう」と提案し、ようやく意見集約がはかられて、プレゼントが決まりました。私はずっと傍観していましたが、子どもたちの成長を垣間見た日になりました。
(H町 Cさん)

⇒ 答えを先回りして出すことなく、子ども自身に考えさせる。言ってしまえば簡単で、その場は解決しますが、それでは子どもは育ちません。ジッと待つ・・・そういうCさんは素晴らしいと思います。

★メルマガの感想や日頃思っていること、意見・要望をお寄せください。
⇒ 21kyoushin@gmail.com

5 【編集後記】あつしのひとりごと

5月30日(日)に岩手産業文化センター(アピオ)において、「岩手5きげんライフ in アピオ」が開催されます。椎名誠さんも来るイベントですが、その会場での読み聞かせの出演依頼をいただきました。

11時、12時、13時、14時の4回公演とのこと。お声をかけていただいたことに感謝をし、楽しんできたいです。ちゃんと練習していかなくちゃ。「読書活動の充実」ロゴマークの缶バッジを自作しているので、子どもたちに配り、教ちゃん・振ちゃんの宣伝をしてきたいと思います。

⇒ 第22号は、6月8日(火)配信です。

★平成21年度配信のバックナンバー(第1~17号)はこちらまで。

⇒ <http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/index5.html>

★平成21年度「家庭学習」と「読書推進」の実践事例はこちらまで。

⇒ <http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/index3.html>

★生涯学習の役立ち情報なら何でも「まなびネットいわて」まで。

⇒ <http://www.manabi.pref.iwate.jp/>

~~~~~配信元~~~~~

\* 岩手県教育委員会事務局 生涯学習文化課

\* 発行人：教育振興運動担当 佐藤敦士(さとう あつし)

転送はご自由です。どんどん転送してください。口コミは、あなたから始まります。「みんなでやろう!」という雰囲気あなたから作りだしてください。

~~~~~